

評価項目	質問・提案	回答
①千代田ゲートウェイ	特になし	
②ビジネスを発想するセカンドオフィス	特になし	
③区民の書齋	<p>小中学生向けの企画は「読書になじむ、読書を楽しむ、本が好きになる」というシナリオを、その人に定着させる意味で非常に重要ではないかと考えます。授業の中で図書館に行って本を選んで借りるというような初歩段階から、いくつかの体験学習をプログラムしてはいかがでしょうか。</p> <p>すでに実施済みかと思いますが。</p>	<p>ご指摘のとおり、小中学生に読書を習慣づけることは非常に重要だと考えています。小中学生の日常の大半は、まず第一に家庭と学校生活です。そこで、千代田区立図書館では小中学校へ専門司書を派遣して、それぞれの先生方と連携して読書推進を図ることを中心に活動しています。また、学校ごとの方針やカラーもあるため、それらを勘案して先生方と協力してプログラムを立案・実施しています。その結果は、毎年度実施している千代田区子ども読書調査により検証しています。</p>
④クリエイトする書庫	<p>「地域資料の受入件数」のほかに、千代田区に在住者の著書を集めたものを新たに設定してはいかがでしょうか。</p> <p>千代田区が購入するのではなく、原則著者からご寄贈いただく方式取ると経費はかからない。特色のある書庫の一つともなるので、この寄贈資料の受入件数を指標にしても良いのではないかと考えます。</p>	<p>千代田図書館では「千代田区ゆかりの文学者コーナー」を設けています。その中には著者から直接寄贈していただいた資料も含まれています。しかしながら、ご提案のように著者から寄贈いただくことは往々にして難しい面があります。著作は買って読まれることが著者の希望だと考えられます。</p>
	<p>特別展入場者数（平均）について、新型コロナウイルス感染症が流行し始め、外出して人と接することに不安が多くあった令和2年度より、令和3年度の方が低い数値になっていることが気になります。</p> <p>何か考えられる要因はありますでしょうか。</p>	<p>令和2年度は、「荒俣宏の大大マンガラクタ館」「複製芸術家 小村雪岱 装幀と挿絵に見る二つの精華」の二件開催しましたが、特に後者については、ほぼ同時期に日本橋の三井記念美術館で「小村雪岱スタイル 江戸の粋から東京モダンへ」が開催され、新聞・SNSなどのメディアに2館併せて紹介され話題を呼ぶとともに、宣伝物の交換を行うなどの相乗効果が入場者数増につながったと考えられます。</p>
	<p>「図書館機能役割の違い」という表現がありますが、千代田と日比谷の違いを今以上に際立たせるとい方向でしょうか。</p> <p>概要を教えていただければ幸いです。</p>	<p>千代田区立図書館の5館は、それぞれの機能的役割を持っています。</p> <p>千代田は中央館として全分野にわたりバランスの取れたサービスを提供するほか、全体に関わる方針、規則、調査、企画立案等サービスの基盤を調整します。</p> <p>日比谷は特別館として図書館機能、ミュージアム機能、文化活動・交流機能、アカデミー機能の相互の連動によって、知の拠点を目指しています。</p> <p>四番町、昌平、神田は地域に密着した機能・サービスを持ち、四番町は区立図書館の児童サービスの中核としての機能を併せ持ちます。今後もこれらの役割を継続していく予定です。</p>

評価項目	質問・提案	回答																							
⑤ファミリーフィールド	<p>子ども読書調査における不読率ですが、他地区との相对比较はできないのでしょうか。</p> <p>千代田区のデータがいいのか悪いのか、大まかにでも把握できるようにしてほしいです。またその改善策としての他地区の取り組み事例も知りたいです。</p>	<p>東京都教育委員会は、公立学校や図書館における読書活動推進状況、公立学校の児童・生徒の読書状況調査を隔年で行っており、東京都全体での数値を公表しています。</p> <p>令和元年度の概要版を基に、不読率実績の全国、東京都、千代田区との比較を下表にまとめました。小学生の場合、東京都は全国より不読率は低く、千代田区はさらに低いというのが傾向です。</p> <table border="1" data-bbox="1451 440 2101 595"> <thead> <tr> <th>全国</th> <th>R1</th> <th>都</th> <th>R1</th> <th>区</th> <th>R1</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">小 (4~6)</td> <td rowspan="2">6.8%</td> <td>小2</td> <td>2.9%</td> <td rowspan="2">小</td> <td rowspan="2">2.1%</td> <td rowspan="2">2.7%</td> </tr> <tr> <td>小5</td> <td>4.2%</td> </tr> <tr> <td>中</td> <td>12.5%</td> <td>中2</td> <td>9.9%</td> <td>中</td> <td>12.7%</td> <td>12.5%</td> </tr> </tbody> </table>	全国	R1	都	R1	区	R1	R3	小 (4~6)	6.8%	小2	2.9%	小	2.1%	2.7%	小5	4.2%	中	12.5%	中2	9.9%	中	12.7%	12.5%
	全国	R1	都	R1	区	R1	R3																		
小 (4~6)	6.8%	小2	2.9%	小	2.1%	2.7%																			
		小5	4.2%																						
中	12.5%	中2	9.9%	中	12.7%	12.5%																			
	<p>中高生の不読率の話が前回の評議会にも話が及んだが、千代田区内中高生の不読率引き上げについて目標を提示し、その目標を達成するための施策を講じることで他区との差や、不読率をどれだけ引き上げることができたのかを明示するのも良いのではないかと考える。</p>	<p>指定管理者として、年度計画書の中で重点を置く事業等に関してパフォーマンス指標を設定しています。</p> <p>その中で「子ども読書調査における不読率」の目標値は、文科省「第4次子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」の目標値に基づき、小学生は2.0%、中学生は8.0%に設定しています。</p>																							
⑥管理運営	<p>「職員研修参加者数」においても、実施状況には「オンラインでの研修が増え参加機会を確保した」旨の記載があるが、むしろコロナ禍では増える傾向となるのではないか。</p>	<p>職員の研修は、業務状況との兼ね合いで受講できるかどうかを決定していくため、オンラインでの研修が増えても受講機会が増える訳ではありません。なお、特にオンライン研修を行うためのスペース確保は、さまざまな調整を経て可能となることをご理解ください。</p>																							
	<p>区内大学生の実習生受け入れはもう少し増えてもいいかと思いました。さらに、高校生を同様に受け入れることはできないでしょうか。</p> <p>図書館の役割を理解してもらおうという意味で。</p>	<p>実習生の受け入れは全業務の説明と体験を行うため、現場職員との多くの調整が必要です。実習クオリティを維持するため、当初は千代田での2名からスタートし、その後日比谷も合わせ、現在では千代田3名、日比谷3名の計6名を受け入れ実施しています。</p> <p>受け入れ人数は、現状が上限だと認識しています。</p>																							